

14 受水槽	※加圧給水ポンプ（住宅物件）の仕様については、加圧給水ポンプユニット仕様書（国土交通省仕様）による。
15 浄化槽	※浄化槽仕様書による。

16 営繕 保温仕様	給排水衛生設備	施工箇所	保温種別	区分
	屋内露出	1. グラスウール 2. 断熱 3. 合成樹脂断熱材	グラスウール 断熱 合成樹脂断熱材	断熱 断熱 断熱
	機械室・倉庫	1. グラスウール 2. 断熱 3. アルミガラスクロス	グラスウール 断熱 アルミガラスクロス	断熱 断熱 断熱
	天井内・PS内・空間壁中	1. アルミガラスクロス付付 グラスウール断熱材 2. アルミガラスクロス	アルミガラスクロス付付 グラスウール断熱材 アルミガラスクロス	断熱 断熱 断熱
	床下・暗渠内	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン	断熱 断熱 断熱
	床下・暗渠内・コナリ内	1. グラスウール 2. 断熱 3. ポリスチレン 4. アルミガラスクロス	グラスウール 断熱 ポリスチレン アルミガラスクロス	断熱 断熱 断熱 断熱
屋外露出・多湿箇所	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン 4. ステンレス断熱材	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン ステンレス断熱材	断熱 断熱 断熱 断熱	
黒管塗装	1. 断熱テープ 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	断熱テープ 断熱テープ 断熱テープ	断熱 断熱 断熱	
白管塗装	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ	断熱 断熱 断熱	

空調設備工事	施工箇所	保温種別	区分
	屋内露出	1. グラスウール 2. 断熱 3. ポリスチレン 4. 合成樹脂断熱材	グラスウール 断熱 ポリスチレン 合成樹脂断熱材
	屋内露出	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン 4. 合成樹脂断熱材	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン 合成樹脂断熱材
	機械室・倉庫	1. グラスウール 2. 断熱 3. アルミガラスクロス	グラスウール 断熱 アルミガラスクロス
	天井内・PS内・空間壁中	1. アルミガラスクロス付付 グラスウール断熱材 2. アルミガラスクロス	アルミガラスクロス付付 グラスウール断熱材 アルミガラスクロス
	天井内・PS内・空間壁中	1. グラスウール 2. 断熱 3. ポリスチレン 4. アルミガラスクロス	グラスウール 断熱 ポリスチレン アルミガラスクロス
床下・暗渠内	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン 4. アルミガラスクロス	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン アルミガラスクロス	
床下・暗渠内・コナリ内	1. グラスウール 2. 断熱 3. ポリスチレン 4. アルミガラスクロス	グラスウール 断熱 ポリスチレン アルミガラスクロス	
屋外露出・多湿箇所	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン 4. ステンレス断熱材	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン ステンレス断熱材	
屋外露出・多湿箇所	1. 断熱テープ 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	断熱テープ 断熱テープ 断熱テープ	

一般	区分	保温種別	区分
	矩形風道	1. 断熱 2. アルミガラスクロス付付 グラスウール断熱材 3. アルミガラスクロス	断熱 アルミガラスクロス付付 グラスウール断熱材 アルミガラスクロス
風	円形風道（スパイラルダクト）	1. アルミガラスクロス付付 グラスウール断熱材 2. アルミガラスクロス	アルミガラスクロス付付 グラスウール断熱材 アルミガラスクロス
	排気風道	1. ロックウール断熱材 2. 断熱 3. 断熱断熱材	ロックウール断熱材 断熱 断熱断熱材

17 住宅 保温仕様	区分	保温種別	区分
	矩形	1. 断熱 2. アルミガラスクロス付付 グラスウール断熱材 3. アルミガラスクロス	断熱 アルミガラスクロス付付 グラスウール断熱材 アルミガラスクロス
給排水衛生設備	屋内露出（住宅内）黒管	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
	屋内露出（住宅内）白管	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	屋内露出（住宅外）	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
	機械室内	1. グラスウール 2. 断熱 3. アルミガラスクロス	グラスウール 断熱 アルミガラスクロス
給排水衛生設備	メーターボックス内黒管	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
	メーターボックス内白管	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	メーターボックス内	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
	床下・暗渠内	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン 4. アルミガラスクロス	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン アルミガラスクロス
給排水衛生設備	床下・暗渠内	1. 断熱テープ 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	断熱テープ 断熱テープ 断熱テープ
	天井内・P・S内	1. グラスウール 2. 断熱 3. アルミガラスクロス	グラスウール 断熱 アルミガラスクロス
給排水衛生設備	スラブ上床板間転がし	1. 断熱テープ	断熱テープ
	スラブ上床板間転がし	1. 断熱テープ	断熱テープ
給排水衛生設備	洗面台内	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
	洗面台内	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	屋外露出	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン 4. ステンレス断熱材	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン ステンレス断熱材
	屋外露出	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン 4. ステンレス断熱材	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン ステンレス断熱材
給排水衛生設備	屋外露出黒管	1. 断熱テープ 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	断熱テープ 断熱テープ 断熱テープ
	屋外露出白管	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	コンクリート内	1. 断熱テープ	断熱テープ
	コンクリート内	1. 断熱テープ	断熱テープ
給排水衛生設備	木造壁内	1. 断熱テープ	断熱テープ
	木造壁内	1. 断熱テープ	断熱テープ
給排水衛生設備	土中埋設	1. ベストバドラム 2. ベストバドラム	ベストバドラム ベストバドラム
	土中埋設	1. ベストバドラム 2. ベストバドラム	ベストバドラム ベストバドラム

※ 0.75kg/㎡保温材及び0.07kg/㎡保温材又は、保温材の使用が困難な箇所は、0.7kg/㎡1tを使用してもよい。
 ※ ストレーナー・弁の保温は、屋内外ともビスなどにより容易に取外しできる構造とすること。
 ※ 防火区画を貫通する管の保温は、その貫通する部分をロックウール保温材とする。
 ※ 遮熱管・温水管の保温は、ポリエチレンフィルムを除く。
 ※ スパイラルダクト（フランジ部を除く。）の保温は、グラスウール保温材2K使用してもよい。
 ※ O.Aダクトが室内空調空間を經由する場合は保温すること。
 ※ 全熱交換器の一次側O.A.E.Aダクトは保温工事を実施すること。
 ※ ドレン管の保温は、排水管の項による。

17 住宅 保温仕様	施工箇所	保温種別	区分
	屋内露出（住宅内）黒管	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	屋内露出（住宅内）白管	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
	屋内露出（住宅外）	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	機械室内	1. グラスウール 2. 断熱 3. アルミガラスクロス	グラスウール 断熱 アルミガラスクロス
	メーターボックス内黒管	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	メーターボックス内白管	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
	メーターボックス内	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	床下・暗渠内	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン 4. アルミガラスクロス	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン アルミガラスクロス
	床下・暗渠内	1. 断熱テープ 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	断熱テープ 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	天井内・P・S内	1. グラスウール 2. 断熱 3. アルミガラスクロス	グラスウール 断熱 アルミガラスクロス
	スラブ上床板間転がし	1. 断熱テープ	断熱テープ
給排水衛生設備	洗面台内	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
	洗面台内	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	屋外露出	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン 4. ステンレス断熱材	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン ステンレス断熱材
	屋外露出	1. ポリスチレン 2. 断熱テープ 3. ポリスチレン 4. ステンレス断熱材	ポリスチレン 断熱テープ ポリスチレン ステンレス断熱材
給排水衛生設備	屋外露出黒管	1. 断熱テープ 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	断熱テープ 断熱テープ 断熱テープ
	屋外露出白管	1. エポキシ樹脂 2. 断熱テープ 3. 断熱テープ	エポキシ樹脂 断熱テープ 断熱テープ
給排水衛生設備	コンクリート内	1. 断熱テープ	断熱テープ
	コンクリート内	1. 断熱テープ	断熱テープ
給排水衛生設備	木造壁内	1. 断熱テープ	断熱テープ
	木造壁内	1. 断熱テープ	断熱テープ
給排水衛生設備	土中埋設	1. ベストバドラム 2. ベストバドラム	ベストバドラム ベストバドラム
	土中埋設	1. ベストバドラム 2. ベストバドラム	ベストバドラム ベストバドラム

※ 硬質塩化ビニル管及び鉄管のコンクリート、地中埋設部は防食施工しない。
 ※ サニタリーバンド及び通気管の屋内露出部分は塗装する。
 ※ 屋内露出（便所）の通気管は塗装する。
 ※ コンクリート貫通部分には、防食処理を行う。
 ※ 断熱切替（PL板除く）貫通の場合は断熱材にプラスチックプレート取付のこと。
 ※ 支持金物仕様PS内（鋼製）、屋外（SUS製）、その他（樹脂製）とする。
 ※ さや管ヘッダー工法におけるヘッダー管は保温を行うこと。

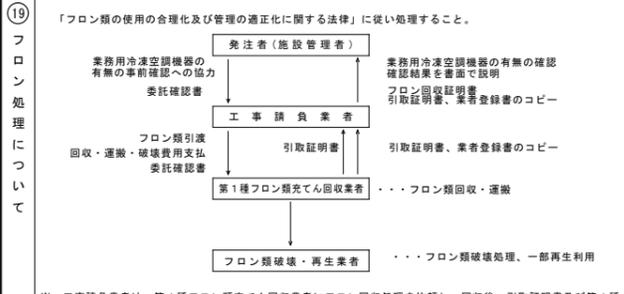
18 建設副産物の処理について
 資源の有効利用、環境負荷の低減を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。
 現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。
 また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。
 工事には、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事終了時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
○がれき類 (コンクリート塊) (アスファルト塊) ・木くず ・汚泥	○廃プラスチック ○ガラス、陶磁器くず ○廃石こうボード ○金属くず ・繊維くず

特別管理産業廃棄物
 ・廃石綿等
 「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境庁大気保全局）」に従い、収集、運搬、処分を行う。
 ・廃PCB等
 「電気事業者：電気関係報告規制」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・提出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※参考受入場所は現場説明書による

建設副産物の処理内容	
処理内容	備考
現場内における分別	
現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積み込み・運搬・処分	
「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要

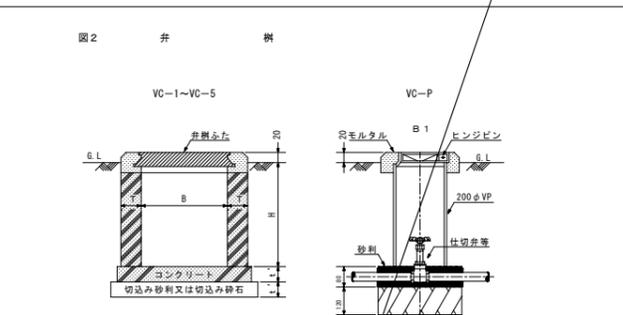
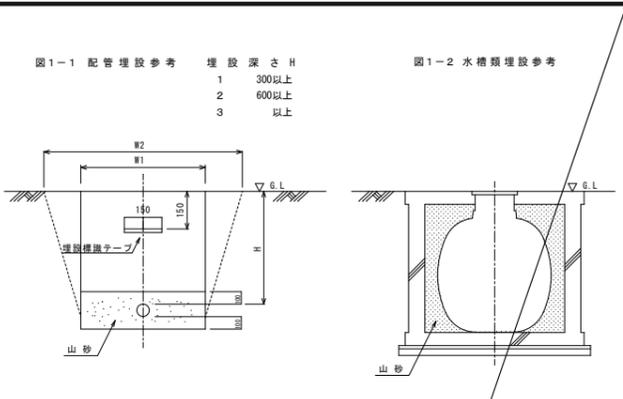


※ 工事請負業者は、第1種フロン類充てん回収業者にフロン回収処理を依頼し、回収後、引取証明書及び第1種フロン類充てん回収業者登録簿のコピーの発行を受け、竣工図書に添付すること。
 ※ 家庭用冷蔵庫（特定家庭用機器再商品化法）に該当する機器（ルームエアコン等）については、適切に処理し、管理票（家庭用冷蔵庫再商品化法）を竣工図書に添付すること。

1. 水	雨水・雑用水処理水・井水
2. 配管材料	一般配管 ・塩ビ配管 (SGP-VA) ・ポリ粉体鋼管 (SGP-PA) ・塩ビ配管 (SGP-VB) ・ポリ粉体鋼管 (SGP-PB) ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HVP) (屋内) ・鉄管 (型種) ・ステンレス鋼管 (SUS) (・圧縮継合・溶接継合・拡管継合) 屋内地中配管 ・塩ビ配管 (SGP-VD) ・ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) ※ プルチゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。 屋外地中配管 ・塩ビ配管 (SGP-VD) ・ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HVP) 水道用硬質塩化ビニル管 (VP) ※ プルチゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。 ・ポリエチレン管 1種 (PE) (溶着継合・金属継手継合)

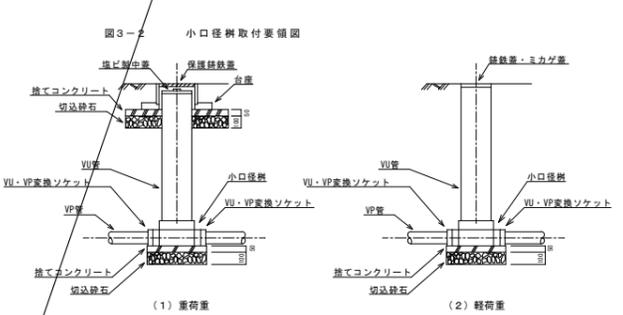
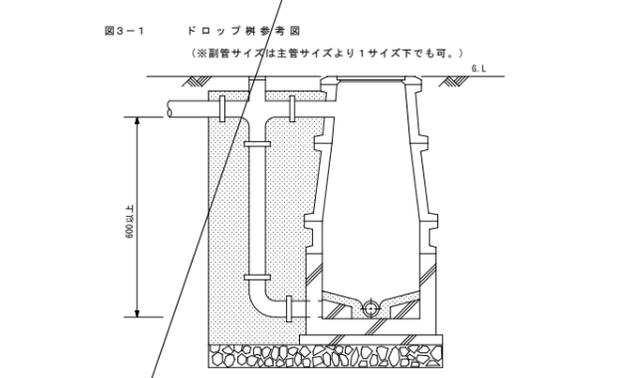
配管等	3. 断熱の防止対策
屋内埋設配管	1. 保温前の埋管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の上には若草色の表示テープを1個3回巻きにし、1m間隔に巻く。
屋内・屋外露出配管	1. 保温前の埋管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の上には「処理水」と表示する。
地中埋設部	埋設部の埋管に若草色の表示テープを1個3回巻きにし、1m間隔に巻く。
コンクリート内埋設部	2. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地中埋設部）
メーター	1. メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。 2. メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。
バルブ等	1. バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。 2. バルブ等で操作する恐れのある箇所には、標示帯等を取り付け処理水の等であることを識別できるようにする。 3. 地中埋設バルブの鉄蓋は「処理水」入りを使用すること。

注) 若草色とは黄緑色をいう。
 処理水用の若草色表示テープ、黄色の埋設標識テープは福岡市工事組合に常備。井水水を使用水として使用する場合は、上表において「若草色を紫色に」、「処理水を雑用水」と読みかえる。

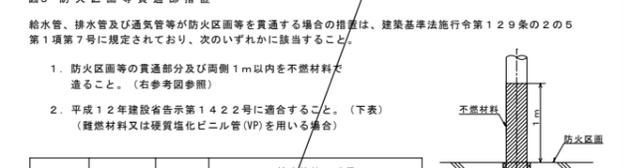
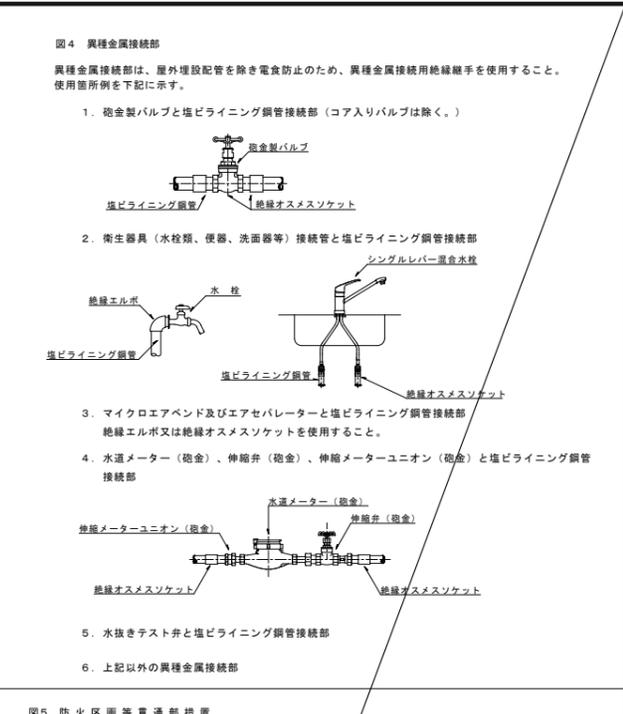


記号	井の呼び径	B	T	t'	t''	ふた
VC-P	25 以下	200φ				B 1
VC-1	40 以下	180x180	550	75	75	B 1
VC-2			850	100	100	
VC-3	50~80	300x300	700	100	100	MHA-P300
VC-4			900	120	120	
VC-5	100~200	450x450	1,200	120	120	MHA-P450

注 (イ) 本表のB及びt寸法は、5K仕切弁を対象とする。
 (ロ) コンクリートには、必要に応じ鉄筋を入れる。
 なおコンクリート部は工場製品でもよい。
 (ハ) 軒底部には、必要ある場合は、水抜きを設ける。



注) 若草色とは黄緑色をいう。
 処理水用の若草色表示テープ、黄色の埋設標識テープは福岡市工事組合に常備。井水水を使用水として使用する場合は、上表において「若草色を紫色に」、「処理水を雑用水」と読みかえる。



用途	覆いの有無	肉厚	給水管等の外径			
			防火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造	2時間耐火構造
給水管	なし	5.5mm以上	90mm (75)			
	あり	6.6mm以上	115mm (100)	90mm		
排水管及び排水管に付随する通気管	なし	5.5mm以上	90mm (75)	61mm	61mm	
	あり	6.6mm以上	115mm (100)	90mm	61mm	
厚さ0.5mm以上の鉄板の覆い有り	なし	5.5mm以上	90mm (75)			
	あり	6.6mm以上	115mm (100)	90mm	90mm	
7.0mm以上	なし	5.5mm以上	90mm (75)			
	あり	6.6mm以上	115mm (100)	90mm	90mm	

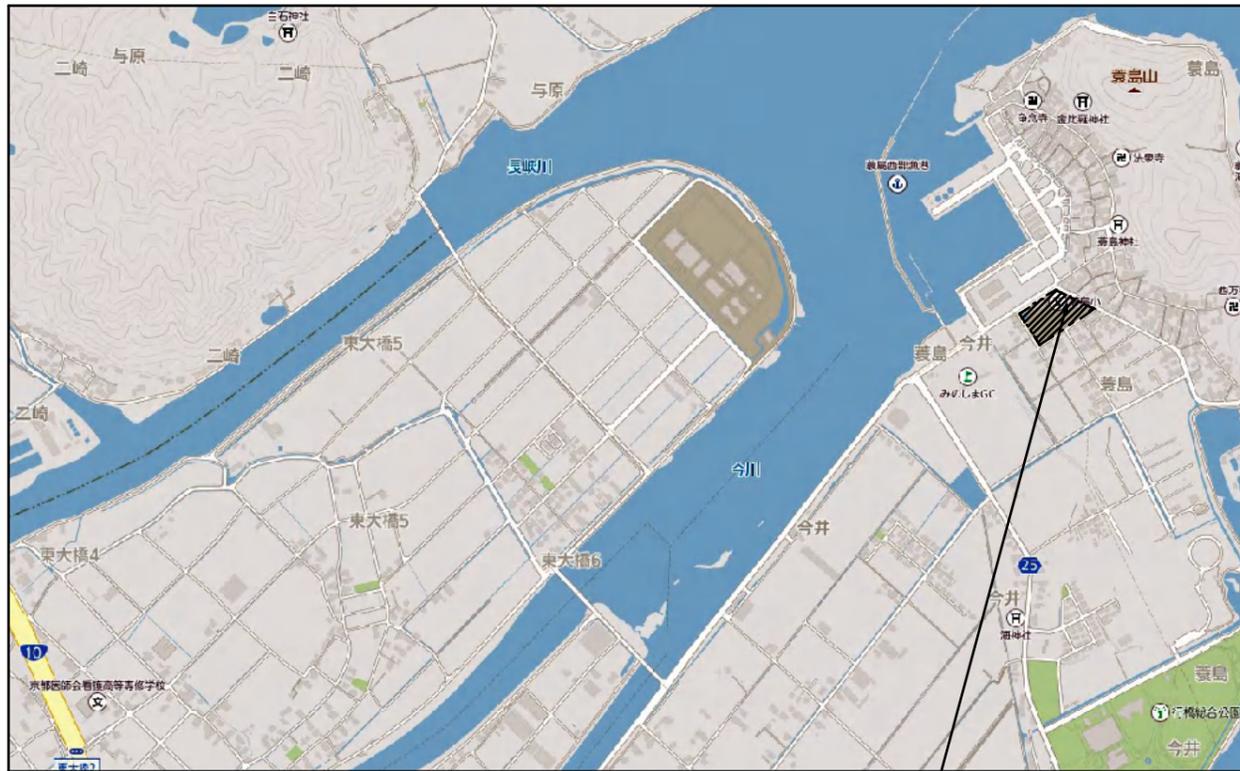
※表中の()内は適合可能な硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741のVU管を除く) の呼び径寸法を示す。
 ※呼称寸法未満の給水管等については、JISに適合した硬質塩化ビニル管であれば、表中の肉厚に満たなくても同一の性能を有しているものとして取り扱う。

- 国土交通大臣の認定を受けたものであること。
- 例1) 硬質塩化ビニル管 (RF-VP) に防火区画貫通用テープを用いる場合 (右参考図参照)
- 例2) 防火区画を貫通する管の保温は、その貫通する部分をロックウール保温材とする。

表1 厨房排気ダクトの板厚
 厨房排気ダクト（矩形ダクトに限る）の板厚については、以下による
 [単位: mm]

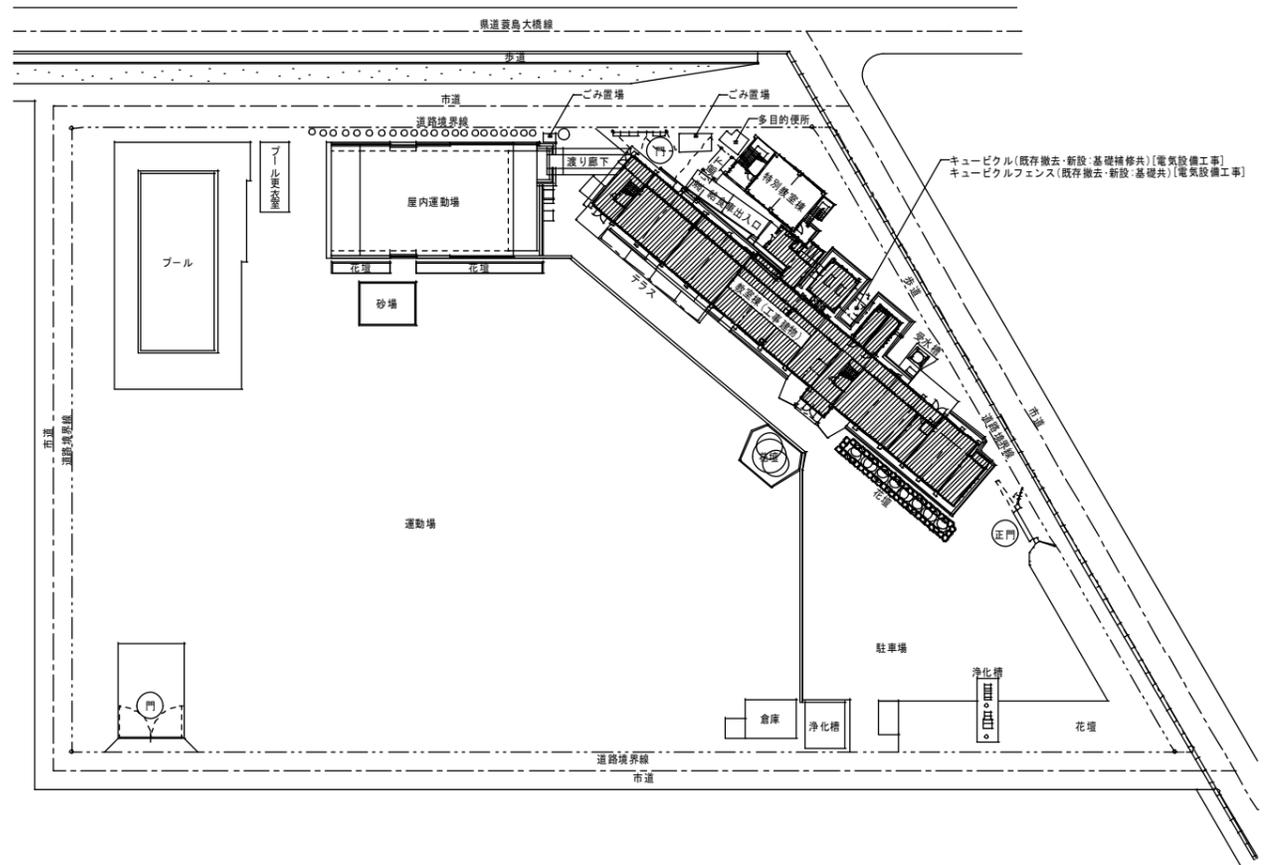
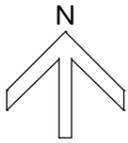
ダクトの長辺	板厚	
	亜鉛鉄板	ステンレス鋼板
450以下	0.6以上	0.5以上
450を超え1,200以下	0.8以上	0.6以上
1,200を超え1,800以下	1.0以上	
1,800を超えるもの	1.2以上	0.8以上

※ 硬質塩化ビニル管及び鉄管のコンクリート、地中埋設部は防食施工しない。
 ※ サニタリーバンド及び通気管の屋内露出部分は塗装する。
 ※ 屋内露出（便所）の通気管は塗装する。
 ※ コンクリート貫通部分には、防食処理を行う。
 ※ 断熱切替（PL板除く）貫通の場合は断熱材にプラスチックプレート取付のこと。
 ※ 支持金物仕様PS内（鋼製）、屋外（SUS製）、その他（樹脂製）とする。
 ※ さや管ヘッダー工法におけるヘッダー管は保温を行うこと。



工事場所：行橋市立 葦島小学校
行橋市葦島8-4-1番地の1

付近見取図



配置図 S=1/500

共通事項

- ※ 工事期間中、生徒・職員の安全に努めること。
- ※ 仮設物・仮囲い・現場事務所等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。
- ※ 敷地内の車両の通行に際しては、最徐行とし歩行者の安全に努める事。
- ※ 仮囲い等の進入口は鍵付とし、原則として工事関係者以外の立ち入り禁止措置を行う事。
- ※ 工事完了後は、仮囲い内の整地を行う事。

OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 <small>福岡県行橋市北原五丁目1-2番6号</small>	一級建築士 第114155号 職 務 真 治 <small>TEL 0930-22-0412</small>	DRAWN BY 工事名称 葦島小学校空調整備工事の内機械設備工事	DATE 日 月 年	DRAWING NO. M-03
		CHECKED BY 工事場所 福岡県行橋市葦島8-4-1番地の1 図面名称 付近見取図・配置図	SCALE S=1:500	

空調機器仕様表 ※改修後（新設機器）

記号	機器名称	機器仕様	電気特性（消費電力）			台数	設置室名		備考
			KW	φ	V		1階	2階	
ACP-1	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式（インバータータイプ）6馬力相当	4.13	3	200	1	1F：職員室×1台		
		天吊形・同時ツインタイプ（室外機：耐重塩害仕様）	(4.19)						
		冷房能力：16.0kW（定格：14.0kW）	12.5	(A)					
		暖房能力：20.2kW（定格：16.0kW）	(12.7)	(A)					
		付属品：ワイヤレスリモコン（リモコンホルダー共）							
ACP-2	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式（インバータータイプ）5馬力相当	3.37	3	200	6	1F：図書室×1台	2F：3年×1台	
		天吊形・同時ツインタイプ（室外機：耐重塩害仕様）	(3.93)					2F：4年×1台	
		冷房能力：14.0kW（定格：12.5kW）	10.6	(A)				2F：5年×1台	
		暖房能力：18.2kW（定格：14.0kW）	(12.3)	(A)				2F：6年×1台	
		付属品：ワイヤレスリモコン（リモコンホルダー共）						2F：音楽室×1台	
ACP-3	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式（インバータータイプ）4馬力相当	2.56	3	200	4	1F：2年×1台		
		天吊形・同時ツインタイプ（室外機：耐重塩害仕様）	(2.97)				1F：1年×1台		
		冷房能力：11.2kW（定格：10.0kW）	7.8	(A)			1F：家庭科室×2台		
		暖房能力：14.0kW（定格：11.2kW）	(9.0)	(A)					
		付属品：ワイヤレスリモコン（リモコンホルダー共）							
ACP-4	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式（インバータータイプ）2.3馬力相当	1.36	3	200	2	1F：校長室×1台		
		天吊形・ペアタイプ（室外機：耐重塩害仕様）	(1.46)				1F：保健室×1台		
		冷房能力：5.6kW（定格：5.0kW）	4.3	(A)					
		暖房能力：6.3kW（定格：5.6kW）	(4.7)	(A)					
		付属品：ワイヤレスリモコン（リモコンホルダー共）							

- （注記-1）冷媒はオゾン破壊係数0のものとする。
- （注記-2）空調機器の能力はインバーター制御の最大値とする。
- （注記-3）空調機器はグリーン購入法適用品とする。
- （注記-4）ACP-1～3の室外機に転倒防止対策を行うこと。
- （注記-5）室外機全数に防護ネットを取付けること。
- （注記-6）室外機は全数「耐重塩害仕様」とする。

主要制御機器表 ※改修後（新設機器）

機器名称	機器仕様	電源		台数	設置場所	備考
		φ	V			
デマンドコントローラー	制御出力4点	1	100	1	1F：事務室	
パルス検出器	電力量パルス	1	100	1	屋外：電力需給用複合計器附近	
集中リモコン	タッチパネル型セントラルステーション	1	100	1	1F：事務室	

- （注記-1）各機器の本体及び調整費は本工事とする。
- （注記-2）各機器の据付及び機器間の配線工事は電気工事とする。
- （注記-3）集中リモコンから各エアコンまでの制御配線は本工事とする。

冷媒管サイズ（参考）

記号	ガス側（φ）		液側（φ）	
	主管	分岐管	主管	分岐管
ACP-1	15.9	15.9	9.5	9.5
ACP-2	15.9	15.9	9.5	9.5
ACP-3	15.9	12.7	9.5	6.4
ACP-4	12.7		6.4	

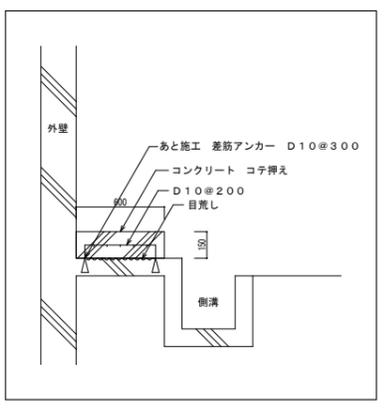
室外機基礎寸法（参考）

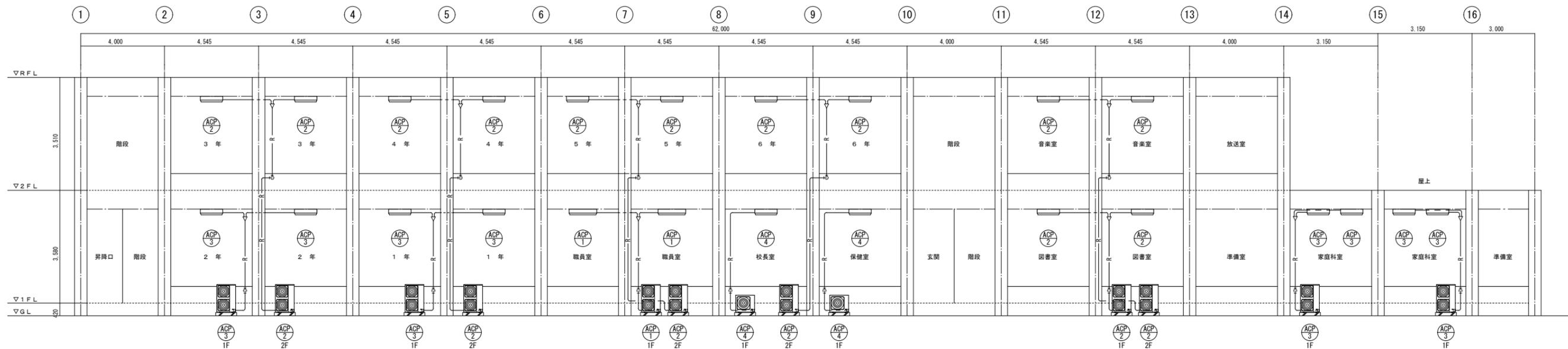
記号	基礎寸法（mm）及び備考	差筋アンカー本数
ACP-1	既設コンクリート基礎、モルタル補修の上再使用	
ACP-2	1150×600×150H（内、3台は既設コンクリート基礎、モルタル補修の上再使用）	6
ACP-3	1150×600×150H	6
ACP-4	900×500×150H（内、1台は既設コンクリート基礎、モルタル補修の上再使用）	4

凡例

名称	記号	管材質
冷媒管	—R—	冷媒用被覆銅管（CU）
ドレン管	—D—	屋内：結露防止層付塩化ビニール管（ACVP）、屋外露出：硬質塩化ビニール管（VPP）
遠方制御線	---A---	EM-C E E 2.0-2C
遮り線		1V-1.6mm-3本（冷媒管に共巻）

室外機基礎断面図（参考）

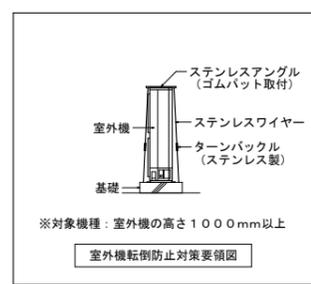




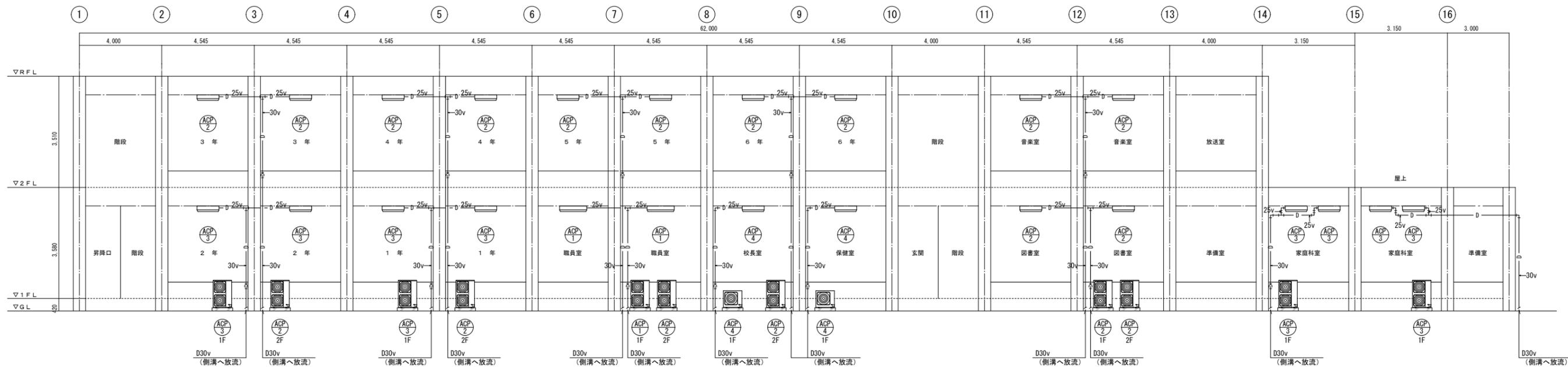
改修後：校舎棟系統図

冷媒管サイズ (参考)

記号	ガス側 (φ)		液側 (φ)	
	主管	分岐管	主管	分岐管
ACP-1	15.9	15.9	9.5	9.5
ACP-2	15.9	15.9	9.5	9.5
ACP-3	15.9	12.7	9.5	6.4
ACP-4	12.7		6.4	

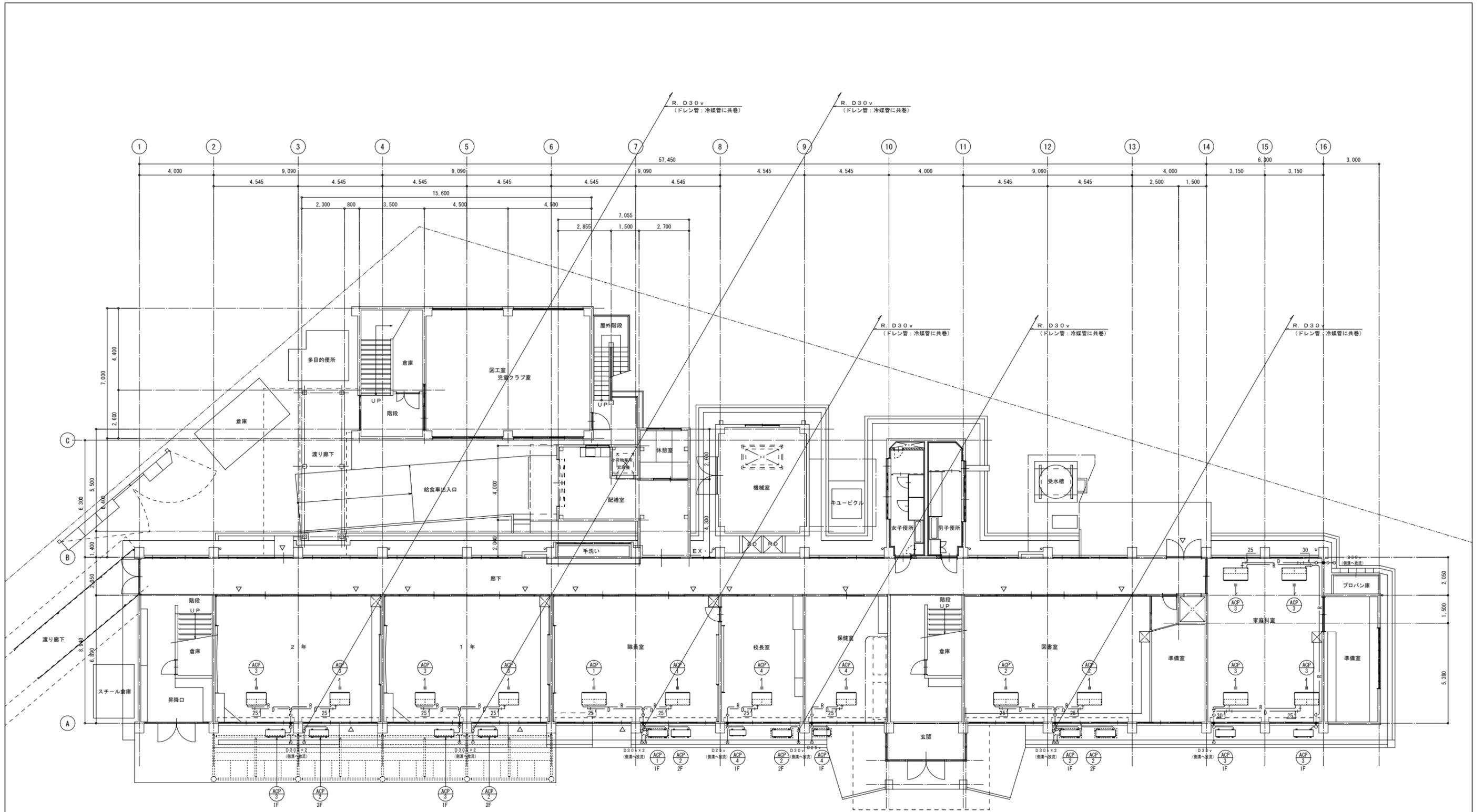


室外機転倒防止対策要領図



改修後：校舎棟系統図

OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北原五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 機 経 真 治 TEL. 0930-23-0412	DRAWN BY	工事名称 養島小学校空調整備工事の内機械設備工事	DATE	DRAWING NO. M-06
		CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市養島841番地の1	SCALE	
		図面名称 改修後 空調設備工事 ドレン管系統図	NO SCALE		

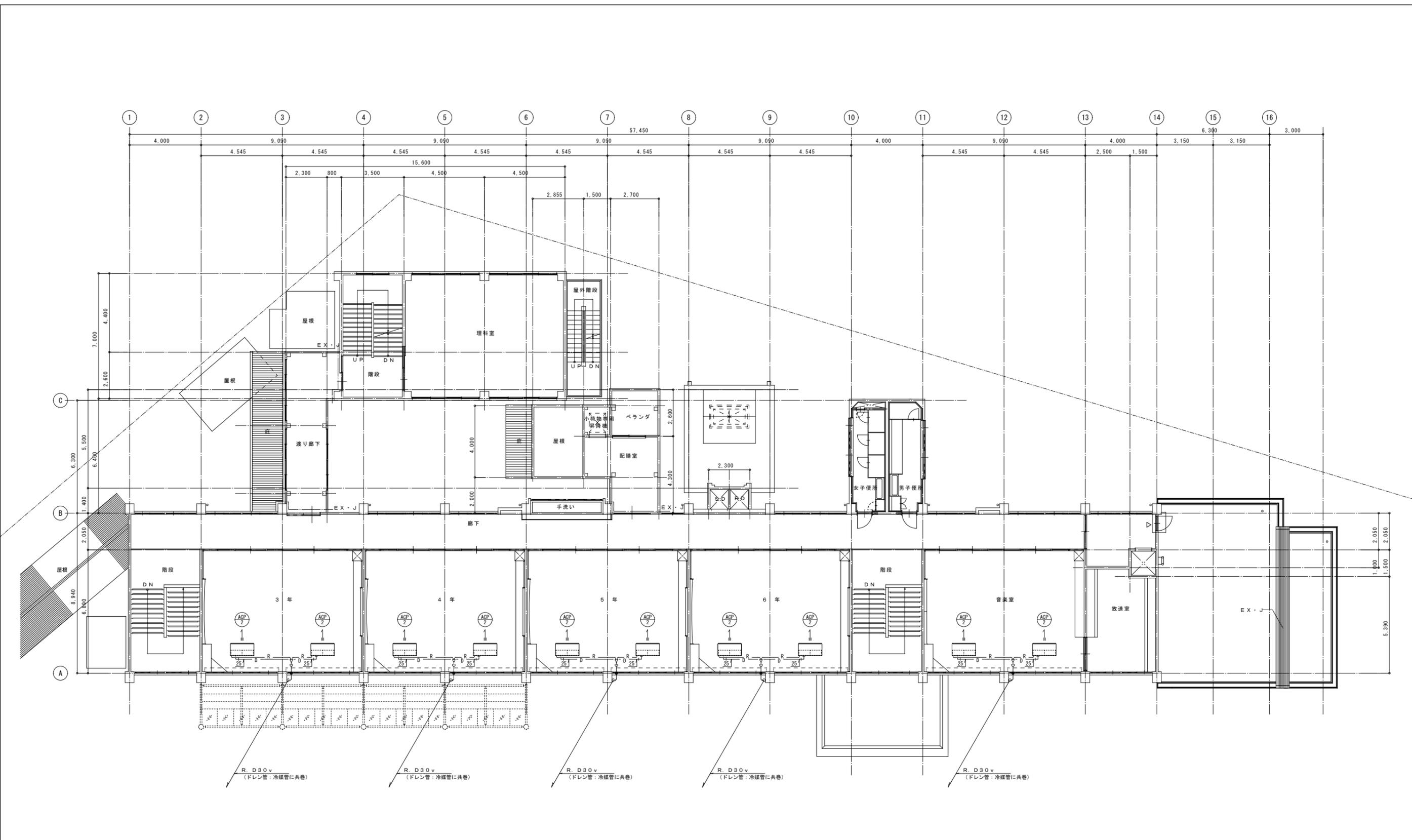


凡例
 ●：壁貫通（ダイヤモンドカッター）箇所

改修後 1階平面図 S=1/100

注記) 既設コンクリート基礎再使用

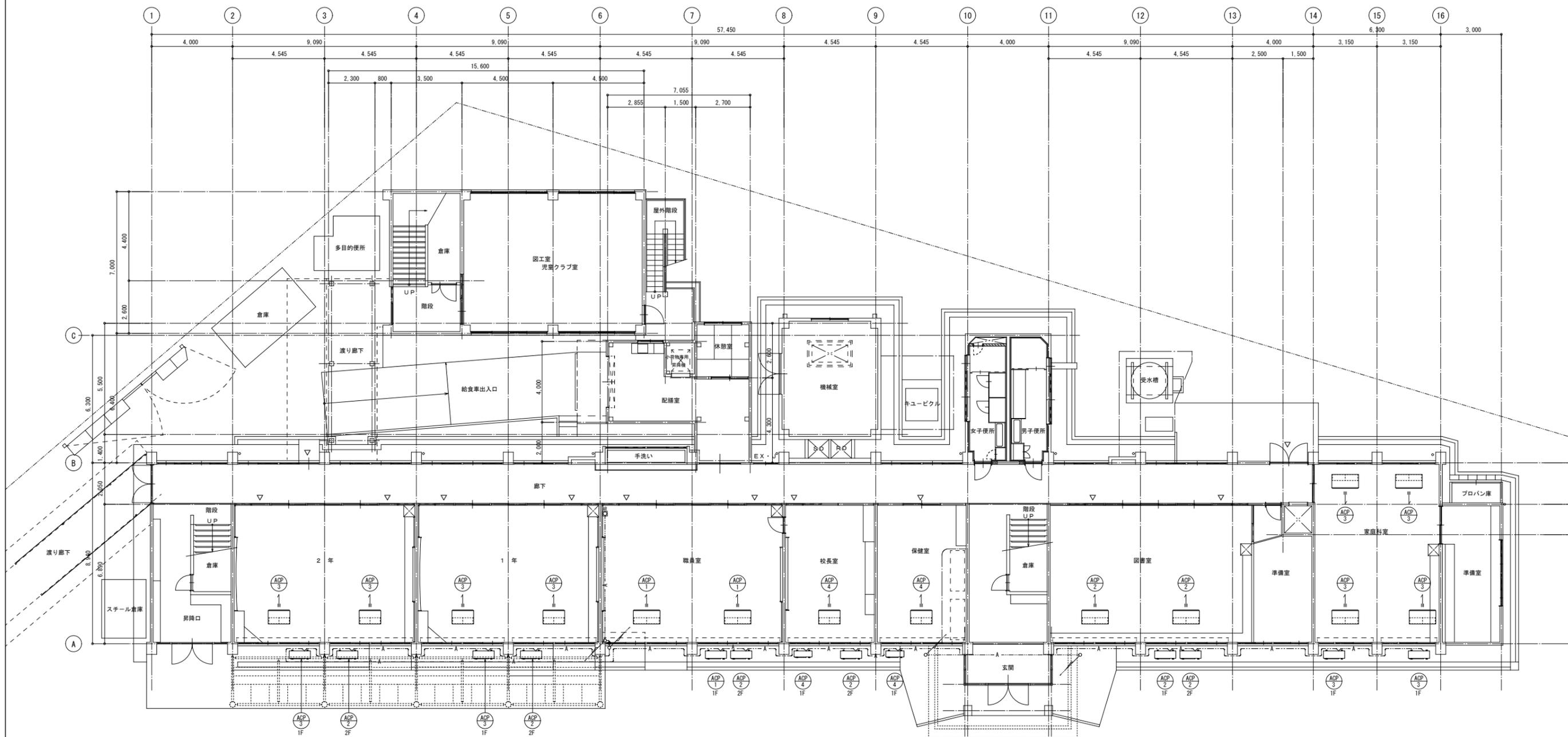
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北原五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 磯 経 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY 工事名称 養島小学校空調整備工事の内機械設備工事	DATE	DRAWING NO. M-07
		CHECKED BY 工事場所 福岡県行橋市養島841番地の1	SCALE	
		図面名称 改修後 空調設備工事 1階平面図	S=1:100	



改修後 2階平面図 S=1/100

OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北原五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 機 経 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY	工事名称 養島小学校空調整備工事の内機械設備工事	DATE	DRAWING NO. M-08
		CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市養島841番地の1	SCALE	
		図面名称 改修後 空調設備工事 2階平面図	S=1/100		

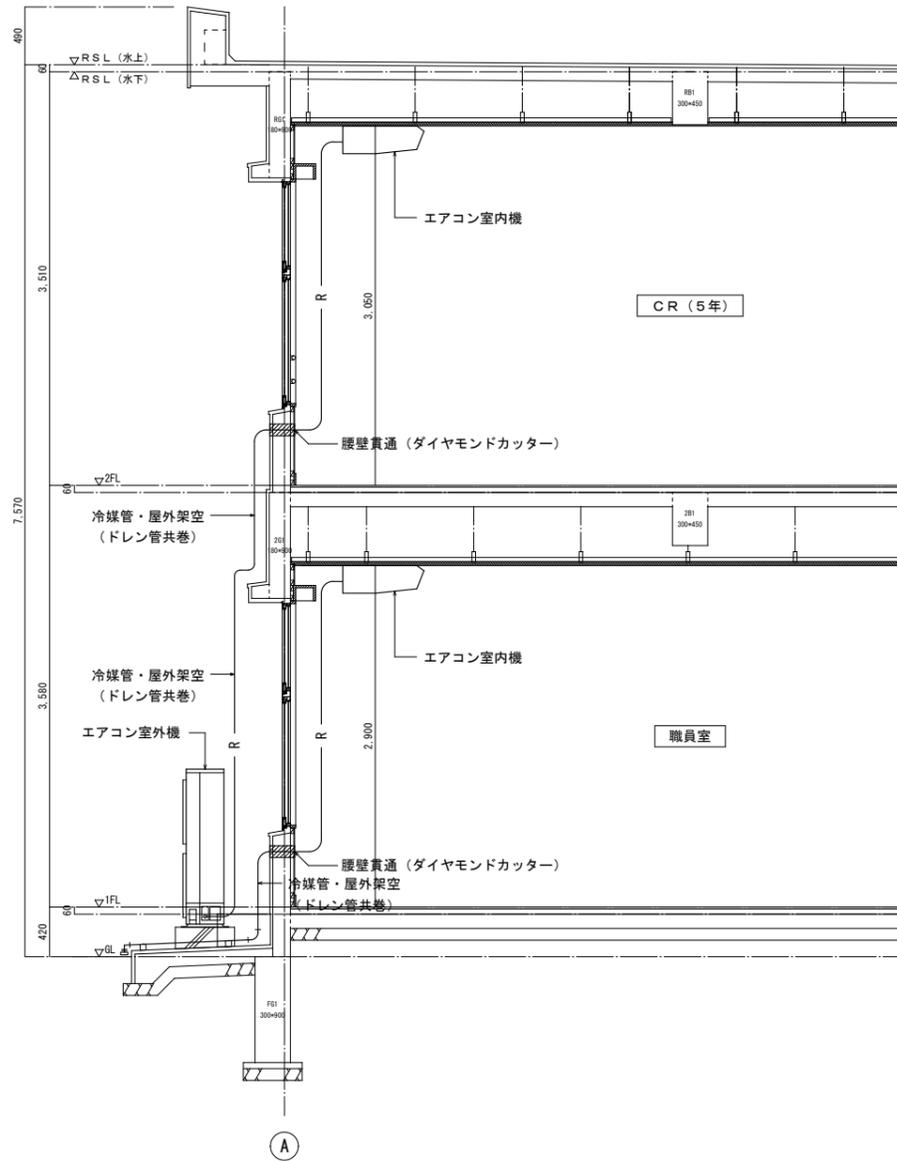
凡 例		
記号	名称	備考
ACP	パッケージ形空調機	
AR	集中管理リモコンSW	
—A—	遠方制御線	EM-CEE 2.0-2C



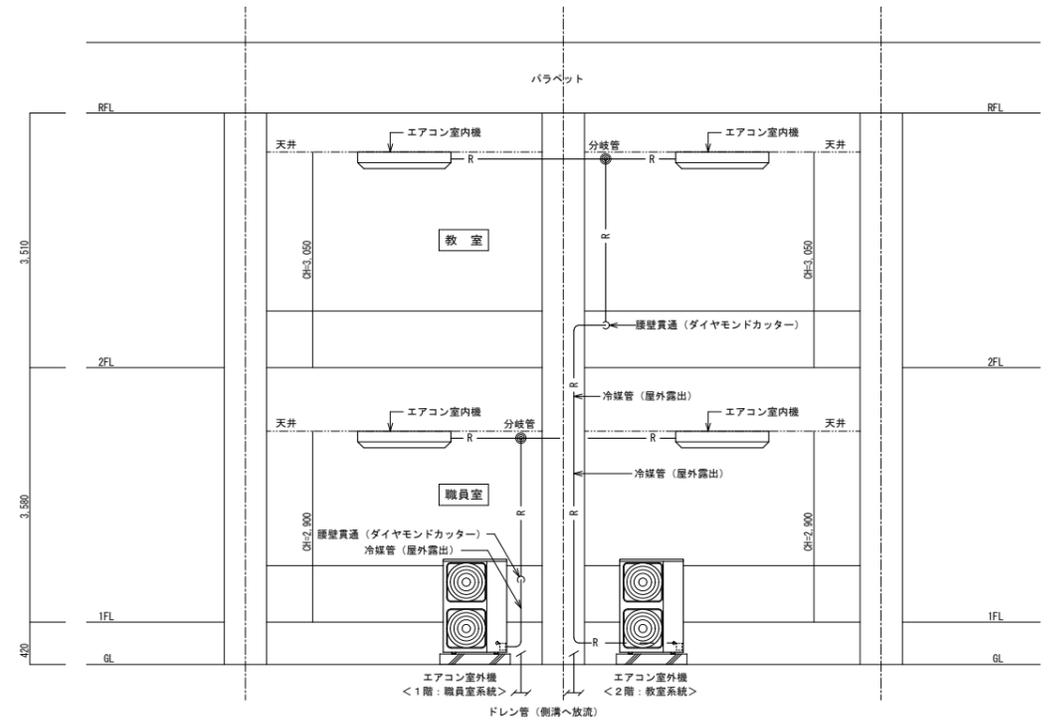
凡 例
 ●—: 壁貫通 (ダイヤモンドカッター) 箇所

改修後 1階平面図 S=1/100

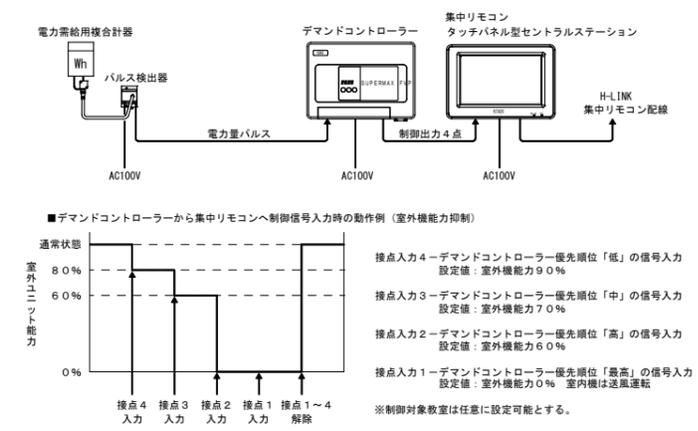
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北原五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 磯 野 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY	工事名称 養島小学校空調整備工事の内機械設備工事	DATE	DRAWING NO. M-09
		CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市養島841番地の1	SCALE	
		図面名称 改修後 遠方制御設備工事 1階平面図		S=1:100	



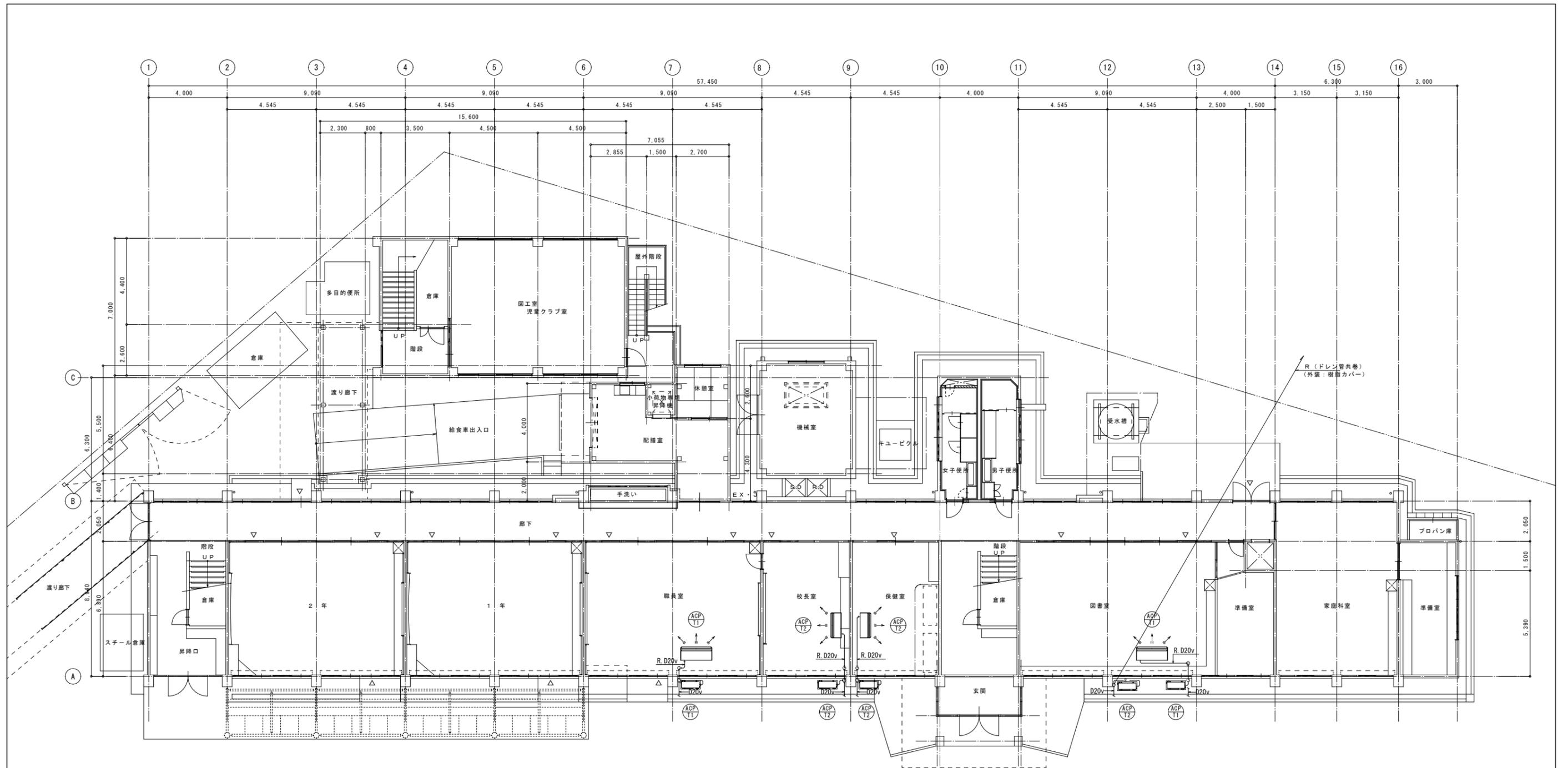
(改修後) 施工要領図-2 S=1/30



空調設備・施工要領図-2 (参考)



デマンド設備・施工要領図 (参考)



改修前 1階平面図 S=1/100

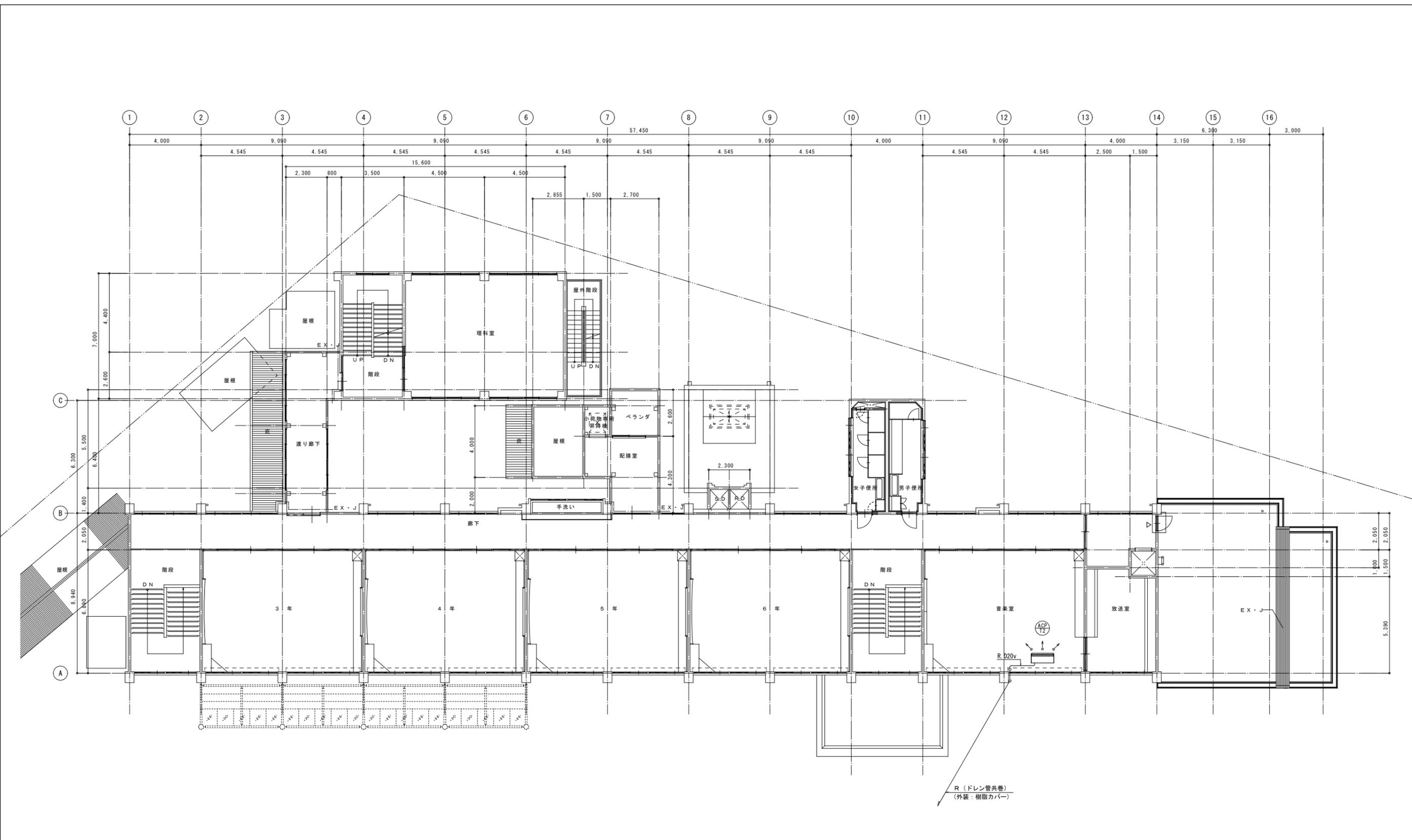
注) 図中機器・配管は、全て撤去を行う。

冷媒管サイズ (参考)

記号	ガス側 (φ)		液側 (φ)	
	主管	分岐管	主管	分岐管
ACP-T1	15.9		9.5	
ACP-T2	15.9		9.5	

撤去機器表 ※改修前 (撤去)

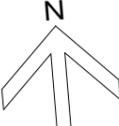
記号	機器名称	機器仕様	電気特性 (消費電力) ※参考			台数	設置室名	備考
			KW	φ	V			
ACP-T1	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式 (インバータータイプ) 5馬力相当	5.6	3	200	2	1F: 職員室×1台 1F: 図書室×1台	
		天井吊形・ベアタイプ	(5.7)					
		冷房能力: 14.0kW (定格: 12.5kW) 暖房能力: 16.0kW (定格: 14.0kW)						
ACP-T2	パッケージ形空調機	空冷ヒートポンプ式 (インバータータイプ) 3馬力相当	3.3	3	200	3	1F: 校長室×1台 1F: 保健室×1台 2F: 音楽室×1台	
		天井吊形・同時ツインタイプ	(3.3)					
		冷房能力: 8.0kW (定格: 7.1kW) 暖房能力: 9.0kW (定格: 8.0kW)						



改修前 2階平面図 S=1/100

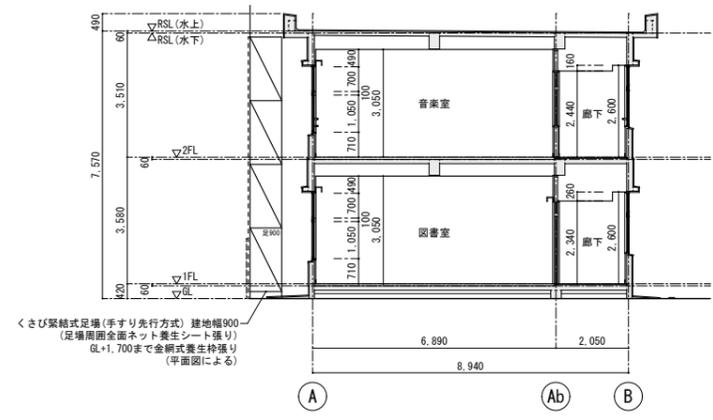
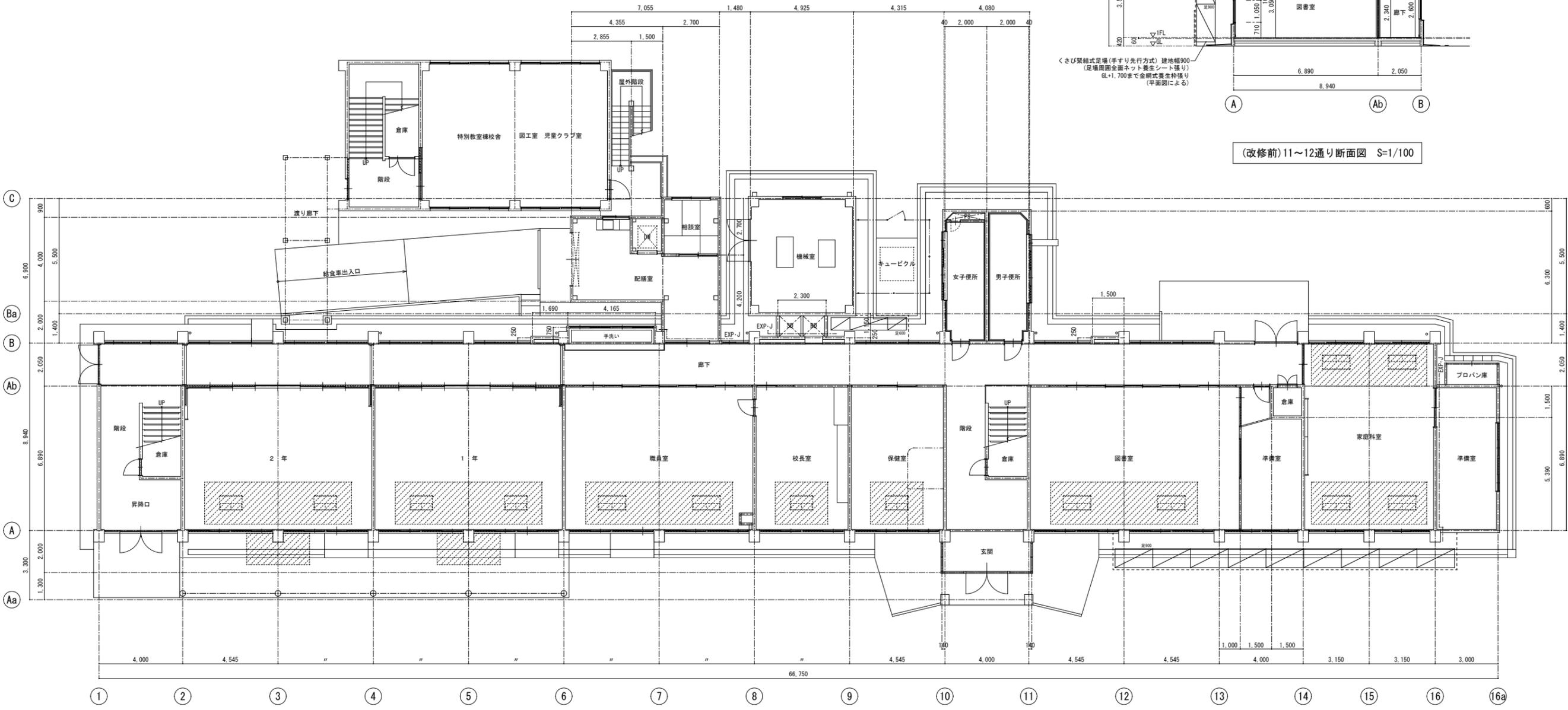
注) 図中機器・配管は、全て撤去を行う。

OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 岡野設計事務所 福岡県行橋市北原五丁目12番6号	一級建築士 114155号 磯 野 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY	工事名称 養島小学校空調整備工事の内機械設備工事	DATE	DRAWING NO. M-12
		CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市養島841番地の1	SCALE	
		図面名称 改修前 撤去工事 2階平面図	S=1:100		



凡例

- くさび型結式足場(手すり先行方式) 建地幅900
〔足場周囲全面ネット養生シート張り〕 RL+1.700まで金網式養生枠張り
〔機械設備工事で設置、電気設備工事で共用する事〕
- くさび型結式足場(手すり先行方式) 建地幅600
〔足場周囲全面ネット養生シート張り〕 RL+1.700まで金網式養生枠張り
〔機械設備工事で設置、電気設備工事で共用する事〕
- 脚立足場範囲 (内部は養生・整理清掃後片付を行う事)
- 空調取付箇所



(改修前) 11~12通り断面図 S=1/100

(改修前) 1階設計図面 S=1/100

OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北東五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 横経 真治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY: 岡野設計事務所 CHECKED BY: 横経 真治 工事名称: 養島小学校空調整備工事の内機械設備工事 工事場所: 福岡県行橋市大字養島841番地の1 図面名称: 教室棟校舎 1階設計図面・断面図	DATE: _____ SCALE: S=1/100	DRAWING NO.: M-13
---	---	--	-------------------------------	-------------------

